

平成19年度環境技術実証モデル事業検討会

有機性排水処理技術拡大ワーキンググループ会合

議事要旨

1. 日時：平成19年12月5日（水）14：00～16：00

2. 場所：霞山会館 Room8 青花

3. 議題

(1) 環境技術実証モデル事業（有機性排水処理技術分野）の概要について

(2) 事業および対象技術分野への要望・意見

①対象技術および事業の運用についての要望・意見

②実証によるメリット等の向上についての要望・意見

(3) その他

4. 出席検討員：藤田正憲（座長）、岡田光正、中井尚、名取眞

意見者（実証機関）：大阪府環境農林水産総合研究所（平成15, 16, 18, 19年度実証機関）

広島県環境部環境対策局（平成15, 16, 18年度実証機関）

社団法人埼玉県環境検査研究協会（平成19年度実証機関）

意見者（環境技術開発者）：株式会社丸八（平成16年度実証経験者）

デンセツ商事株式会社（平成16年度実証経験者）

意見者（ユーザー）：サトレストランシステムズ株式会社

（平成15, 16, 18, 19年度技術実証委員会）

5. 配布資料

資料1 環境技術実証モデル事業（有機性排水処理技術分野）の概要について

資料2 事業および対象技術分野に関する要望・意見について（「有機性排水処理技術拡大ワーキンググループ会合の開催及び意見の募集」より）

資料3 平成19年度スケジュールについて（予定）

参考資料

1 小規模事業場向け有機性排水処理技術（厨房・食堂、食品工場関係）
実証試験要領（第3版）

2 事業および対象技術分野に関する要望・意見について（フォローアップ調査、アンケート調査、ニーズ調査等より）

3 環境技術実証モデル事業 平成18年度実証試験結果報告書の概要[小規模事業場向け有機性排水処理技術分野]

4 エコプロダクツ2007 資料

（添付資料：環境技術実証モデル事業のご案内（パンフレット））

6. 議事

会議は公開で行われた。

(1) 環境技術実証モデル事業（有機性排水処理技術分野）の概要について

事務局から、資料1に基づき、環境技術実証モデル事業（有機性排水処理技術分野）の概要を説明。また、本会合の趣旨としては、より効果的な制度の構築のための意見集約であることが説明。

(2) 事業および対象技術分野への要望・意見

①対象技術および事業の運用についての要望・意見

事務局から、資料2に基づき、対象技術および事業の運用についての要望・意見の概要を説明。主な要望・意見は以下の通り。

- 厨房、食堂、食品工場関係以外にも技術の範囲を拡大すべき。
- 手数料負担について、今後活用できる補助制度、助成金等との連携について検討すべきではないか。
- 環境技術開発者による自主試験結果の実証結果への利用は、海外での事例もあるため、今後検討していく必要がある。
- 環境技術開発者にとって、実証事業に携わることは製品の性能実証にとどまらず、外部からの技術的アドバイスが受けられる機会であるというメリットを、今後、浸透させていく必要がある。

②実証によるメリット等の向上についての要望・意見

事務局から、資料2に基づき、実証によるメリット等の向上についての要望・意見の概要を説明。

- エンドユーザーにとって利用しやすいHPになるよう取り組んでいく必要がある
- 実証を行った技術について紹介する場をより多く設けることが必要である。
- ETV ロゴマークは大変有用なものであり、より多くの人へ周知する必要がある。特に、ユーザーへの周知が必要。

(3) その他

事務局から、資料3に基づき、平成19年度スケジュールについて（予定）説明。

(文責：環境省水・大気環境局総務課環境管理技術室 速報のため事後修正の可能性あり)